

第 49 回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和 4 年 9 月 29 日（木） 10：00～12：00

2. 場所

中央合同庁舎 4 号館 4 階 第 4 特別会議室

3. 出席者

（1）委員

鈴木部会長、片岡部会長代理、青木委員、石井満委員、白坂委員、新谷委員、土屋委員、中須賀委員、名和委員

（2）事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西局長、坂口審議官、加藤参事官

（3）関係省庁

内閣官房国家安全保障局 徳永内閣審議官

外務省総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 塚田室長

防衛省防衛政策局戦略企画課 田邊課長

4. 議事要旨

- （1）議題（1）「ウクライナ情勢を踏まえた安全保障分野における衛星データの利用」について、片岡委員から資料 1 に基づき説明をいただいた後、以下のような議論があった。（○：委員からの意見等）

○小型衛星コンステレーションの活用は特にリアルタイム性を要するターゲティングを含めた軍の運用のために重要である。各国の運用例も踏まえつつ、自衛隊が保有すべきものと民間からサービスを調達すべきもののバランスをとることが必要である。

○商業衛星の活用を推進することが重要性である一方、今後、商用衛星が攻撃を受けた場合の対応等についても考えていかなければならない。

○宇宙システムのレジリエンス向上に関して、データのクラウドの分散や秘匿化を含めたデータセンターの抗たん性向上が必要である。また、別の角度では、システム的な検討だけではなく、企業のコンプライアンスの観点（特にサイバーハイジーン（サイバー衛生））も重要である。

(2) 議題(2)「わが国の防衛政策と宇宙安全保障」について、鈴木委員から資料2に基づき説明をいただいた後、以下のような議論があった。(○：委員からの意見等)

○宇宙の安全保障と宇宙からの安全保障を並行して検討する必要がある。

○宇宙関連の将来に向けた研究開発についての方向性を決定するための仕組みを構築する必要があり、3文書改訂後の具体的な技術開発のロードマップ策定に向けた取組について検討していく必要がある。

以上